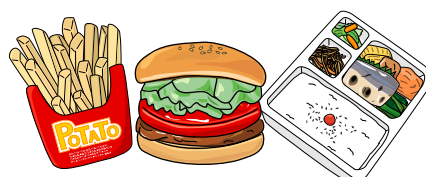


## 第2部 現状・課題・対策



### 1 食をめぐる状況

佐渡の空で朱鷺が飛ぶ姿を見かけることができるようになりました。佐渡は自給自足ができる島といわれ、海や山、田んぼもあり、魚貝・山菜・きのこ・米・果実など豊富にとれる環境にあります。また、佐渡は歴史文化に恵まれた土地であり、都の皇族や文化人が伝えた貴族文化、徳川幕府の役人による武家文化、北前船等の船乗りによる町人文化が島という特性と相まって独特の文化が形づくられており、地区それぞれに継承されている食文化がある土地柄です。

しかし、高度経済成長等による社会環境の変化から、豊かさと便利さがもたらされるとともに生活の価値観やスタイルにも変化を与えました。核家族化の進行、共働きや単身赴任家庭が増え、ライフスタイルも多様化し、生活の時間配分や家族の役割なども変わってきました。それに伴い食環境の変化がみられるようになりました。時間と調理技術を要する料理より、便利で簡単な外食や調理された食品を持ち帰って食べる中食や即席食品を利用することが多くなってきています。佐渡にもコンビニエンスストア・ファーストフード店・お弁当屋等が出店し、スーパーには多くの惣菜が並ぶようになりました。これらのことから生活時間が有効に活用されるようになりましたが、時間や手間のかかる手作りの家庭料理や伝統的な日本料理が家庭の食卓にあがる機会が減少してきています。旬に関わらずいつでも豊富な食品がスーパーに並び、旬の食べ物を知らないお子さんがみられ、季節を感じる食事をする機会が少なくなってきたように思われます。

生活スタイルや嗜好の変化等により、食事の摂り方も変わってきています。佐渡の伝承料理である「にしめ」を子供が好んで食べないこと、20歳代の調査では、摂取カロリーが低く、食事をお菓子で済ませていること等の傾向がみられるようになりました。また柔らかい食事を摂ること等から、きちんと噛めないお子さんもみられます。

若年層の島外流出による過疎化・少子高齢化で、佐渡独特の食文化や伝承料理等が受け継いでいけるのか、更には伝承されていないものも存在するのかもしれないという状況が考えられます。

### 2 食育でめざす佐渡のすがた(ウィッシュポエム)

市民会議において、食育推進のゴールについて願い(思い)：ウィッシュポエムを検討しました。めざすすがたを表しています。



\*ウィッシュポエムでは食育で佐渡が「~なったらいいな。」という思い・願いを市民会議の時のまま表現しています。

